

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和元年 7 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日
定 価 1 部 150 円 1 カ年 1,600 円(税込・送料込)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

e-ラーニングが始まります

岸 真司

名古屋第二赤十字病院 第二小児科部長
医療情報センター 副センター長

この号がお手元に届くころ、すでに診療情報管理士通信教育のe-ラーニングを視聴された受講生の方もいらっしゃると思います。既報のとおり、今年度からスクーリングがe-ラーニングに変わりました。対面式の集合講義からインターネットを使ったWeb授業へ、講義の形態が一新されたわけです。今年度新たに受講された方のために説明すると、従来のスクーリングは連続する3日間を年2回、全国7会場それぞれの日程で行われていました。受講は必須なので、都合をつけて会場に足を運ぶ必要があります。近くの会場では日程が合わず、泊まりがけで遠方の会場で受講される方もみえました。インターネットが生活に浸透した現在、場所や時間の制約なく受講できるWeb授業への移行は時代の必然と言えるでしょう。日本病院会も大きく舵を切ったわけです。

e-ラーニングへの切り替えは、講義を行う側にとっても黒船でした。e-ラーニングの講師役はスクーリング時代の講師が分担して務めることになりました。e-ラーニングで映像配信される資料は講師と教育委員会で意見交換しながら作成します。スクーリングで使っていたパワーポイントがそのまま使えるわけではなく、デザインを統一したり、アニメーションを調整したり、かなりの手直しが発生しました。著作権の問題が起きないように仕上げる作業には特に困難が予想されましたが、学研メディカルサポートのみなさまのおかげで無事乗り越えることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。収録は専用のスタジオです。スクーリングの講義は規定の時間を超過しないことが重要でしたが、e-ラーニングは逆で、少し長めがよしとされます。というのは、収録後に問題が見つかって部分的にカットすることがあり得るので、カリキュラムで定められた学習時間を満たすための備えとのこと。

受講生のみなさん、e-ラーニングはいつでも受講できます。ですが、油断は禁物。時間と場所があらかじめ決まっているスクーリングはいわば非日常でしたが、e-ラーニングでは日常の中に自ら時間を確保しなければなりません。強い意志が求められます。まずは受講して、イメージを持ってからテキストを読むという方法もお勧めです。画面の中でお待ちしております。

